

やさしくされて

小 四

わたしは、もともと中国人でした。ようち園のころ日本に来ました。だから、そのときはとても不便でした。日本語が全く分からなかったからです。ようち園に入園したばかりのころは、自分のすわる席をまちがえてしまったり、体育館に集合するときにまい子になつたりもしました。友達が話している言葉も分からなくて、とにかく全ての会話が全く分かりませんでした。そのため、そのころは友達が一人もいませんでした。さらに、先生におこられたことがあったけれど、なぜおこ

られていたのか分かりませんでした。このような感じで生活していたのですが、それでも仲よくしようと声をかけてくれた友達がいました。でも、言葉が分からなくて親切にされていることがよく分かりませんでした。その友達とは、一年間くらい同じようち園ですごしました。しかし、わたしが別のほ育園にうつって、その友達とは、はなればなれになってしまいました。その後、毎日みんなの日本語を聞いているうちに、少しずつ話せるようになって、意味も分かるようになりました。家では、お父さんは日本語で話しますが、お母さんやおじいちゃん、おばあちゃんには中国語で話します。だから、友達の日本語がとても勉強になり

ました。

小学校に入学したころには、わたしは日本語がすらすら話せて、書いて、意味も分かるようになっていました。そして、さらにびっくりすることがありません。なんと、同じ小学校に、あのやさしくしてくれたAさんがいたのです。わたしは、とてもうれしくなりました。一年生のときは同じクラスではなかったけれども、二年生のときに同じクラスになりました。今度は、わたしからAさんに話しかけました。そして、四年生の今も、Aさんとは同じクラスです。

Aさんは、外国から来たわたしにとっても親切にしてくれました。これからわたしも、Aさんのように、だれに対

してもやさしくできる人でいたいと思っ
ています。